資料３

第２章　将来人口（修正版）

１．将来人口の目標

国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の人口推計では、全国の多くの都市で人口減少が見込まれています。こうした状況の中、鴻巣市においても、住民基本台帳を基に独自に将来人口を推計した結果、令和 32（2050）年時点の人口は社人研推計を上回るものの、既に人口減少局面に入っており、今後も減少が続く見通しとなっています。

また、人口減少への対策や今後のまちづくりの検討に資するため、最新の推計結果を踏まえ、将来の人口展望を整理し、「令和 32（2050）年時点で人口 100,000 人前後を維持すること」を長期目標として設定します。

なお、「鴻巣市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の一環として策定した「鴻巣市人口ビジョン」については、その役割を本計画の将来人口に関する章が引き継ぎ、本章をもってこれに代えるものとします。

＜人口の将来展望に活用する基礎データ＞

市将来展望・・・令和７（2025）年の住民基本台帳に基礎とし、以下の仮定値に基づく推計
社人研による将来推計人口・・・令和２（2020）年の国勢調査に基づき、令和５（2023）年に推計した鴻巣市の人口推計

＜市将来展望の算定における仮定値＞

■合計特殊出生率

令和 7（2025）年	令和 12（2030）年	令和 17（2035）年	令和 22（2040）年	令和 27（2045）年	令和 32（2050）年
1.050	1.062	1.074	1.086	1.098	1.110

●令和７（2025）年の 1.050 は令和４（2022）～令和６（2024）年の３年平均値

●社人研による将来推計人口における埼玉県の合計特殊出生率の令和７（2025）年～令和 32（2050）年の変化幅が 0.06 であり、令和７（2025）年の 1.050 から線形増加（0.012 ずつ）で推移していくと仮定し、令和 32（2050）年の 1.110 に設定

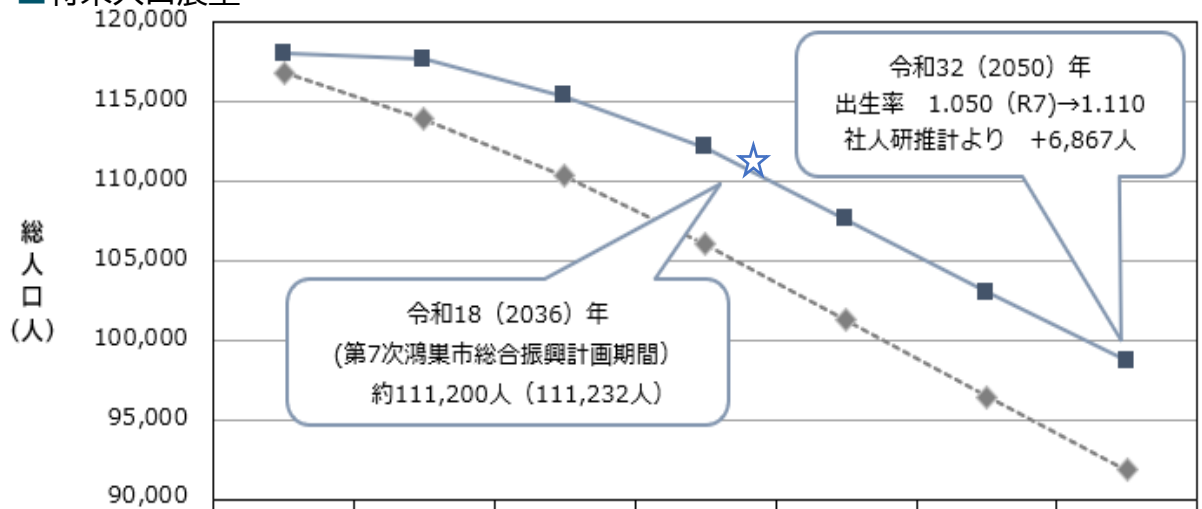
■純移動率（転出入）

●令和２（2020)年から令和７（2025）年までの鴻巣市の住民基本台帳の転出入数データをもとに、将来的な区画整理事業の動向を考慮し、転入超過人口の比率を設定

鴻巣市として一体的なまちづくりを進めるため、「人口減少社会の抑制と適応」を見据え、第７次鴻巣市総合振興計画期間における将来人口の目標を以下のように設定します。

令和 18（2036）年の将来人口展望　**111,200 人**

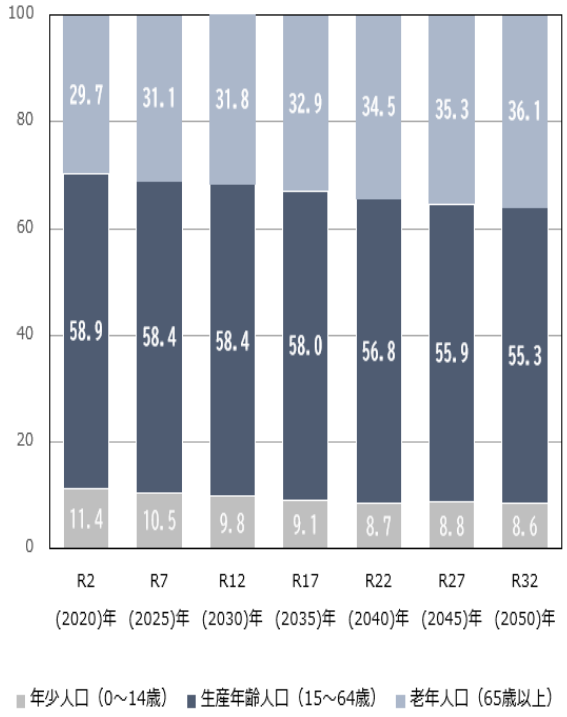
■将来人口展望



	R2 (2020)年	R7 (2025)年	R12 (2030)年	R17 (2035)年	R22 (2040)年	R27 (2045)年	R32 (2050)年
市将来展望	118,042	117,678	115,364	112,135	107,617	102,967	98,716
社人研	116,828	113,935	110,345	106,059	101,288	96,450	91,849

※市将来展望は住民基本台帳、社人研による将来推計人口は国勢調査に基づく

■年齢３区分別の将来人口展望



単位　人、%

区分	R2 (2020)年	R7 (2025)年	R12 (2030)年	R17 (2035)年	R22 (2040)年	R27 (2045)年	R32 (2050)年
社人研推計	116,828	113,935	110,345	106,059	101,288	96,450	91,849
市将来展望	118,042	117,678	115,364	112,135	107,617	102,967	98,716
年少人口 (0~14歳)	13,412	12,373	11,240	10,204	9,353	9,025	8,511
構成比	11.4	10.5	9.8	9.1	8.7	8.8	8.6
生産年齢人口 (15~64歳)	69,571	68,666	67,400	65,036	61,164	57,586	54,604
構成比	58.9	58.4	58.4	58.0	56.8	55.9	55.3
老年人口 (65歳以上)	35,059	36,639	36,724	36,895	37,100	36,356	35,601
構成比	29.7	31.1	31.8	32.9	34.5	35.3	36.1

※ 着色部分の人口、構成比については、実績値